

「あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないためです。」ヘブル 12:3 私達の人生にはこんなに頑張ってきたのにどうしてこんなことが起こるのか？と思うようなことがあります。そんな時には今まで頑張ってきた分、どっと疲れが出て気落ちしてしまうことがあります。私たちの心が元気を失い、疲れ果ててしまうのです。ではどうすれば元気を失わず、疲れ果ててしまわないでしょうか！？ それはヘブル書 12:3の始めに書かれてあります。「罪びとたちのこのような反抗」を忍ばれた方の事を考えることです。罪びとたちというのは直接的には当時のローマ帝国の権力により、ローマ兵がイエス、キリストを十字架にかけたことを言っています。彼らはイエス、キリストを捕らえ、鎖で縛りツバを吐きかけ、あざけられ、イエス、キリストを神と認めず信じない心、神がしなさいと言われることをせず、神がしてはいけないと言われることをしてしまうまさに“的外れ”な反抗によって十字架にかけられました。何か思いがけない悪いことがあったら、私たちは自分を責めたり、目に見えることで判断したり、自分の考え、あの事が悪かった！あの人がこうしたから、、、と起こった事を分析し、批判したりしがちです。しかし、そこに神様が私たちに目を向けてほしいことが隠され、本当に知るべきことは何か、自分がどのような存在なのかと、問いかけてられていることもあるのではないのでしょうか？ 主は十字架上で祈られました。「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」ルカ 23:34 そうです。私たちは「何をしているのか自分でわからない」そのような存在です。真理から目をそらされ、真実の事が隠されています。そのような問題を通して、神様は「本当はどうなのか！？」と私にも語り掛けておられるのかもしれない。「耳を澄ませて」細きみ声を聞きましょう。すると案外見えてくることがあります。十字架刑はローマ帝国、ローマ兵の罪ではありますが、本当は私、私達人類一人一人の罪だということが！ 槍でつき、ツバを吐きかけたのは私ではないかということ！そしてついに十字架に釘付けにして殺してしまったことを！この様な私たちを苦しみの極みで「赦してください」ととりなし祈ってくださった主イエス様！こうまでして私たちを赦し、贖い、命をくださったのです。ここに愛があります。例え、何が起ころうと、この愛は色あせない永遠の真実の愛です。この愛を信じ目を離さない限り、私たちの心が元気を失うことはありません。疲れ果ててしまうことはないのです。「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」ヘブル書 12:2

TLEA FRH Church (The Light of Eternal Agape)

FRH (天に登録されている長子たちの教会) Church of the Firstborn who are

Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト ノア勝裕&和子



Siloam 2019年8月25日 No.1065



(シロアム:遣わされた者 ヨハネ 9:7)

<マタイ 13:23>

ところが、良い地に蒔かれるとは、

みことばを聞いてそれを悟る人のことで、

その人はほんとうに実を結び、

あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。

♪ God is working for my good , now, for my good , for my good ,

God is working for my good ,Yes,You really are! ♪

<http://astone-blog.jp/tleafrh/>